

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第 29 号 2017 年 5 月 14 日発行

+++++

サトイモはまだ芽が出ませんが、陸稲とトウモロコシ 3 品種は発芽、小麦・大麦は出穂、エンドウマメ 3 品種は 2 週間遅れで満開、カボチャ 2 品種、ズッキーニ、キュウリ 3 品種を定植しました。やっと収穫もできる初夏になりました。植物は正直者で、チャンと答えてくれるので、百姓は楽しいです。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、「辺境」の地道な市民活動に関心のない薄情なマスコミやギョウセイではなく、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとうれしいです。

○報告

1. FAO 世界農業遺産 の関連情報をお伝えするウェブページ 『雑穀街道』 を作り、 雑穀街道普及会 の賛同者を募っています。

5 月 14 日現在、40 名の方と 2 団体が賛同してくださっています。賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

ホームページはようやく充実してきました。関東山地で雑穀調査研究を始めたころからの文献や資料を掲載しています。

関連資料はすべていただけてきましたので、植物と人々の博物館森とむらの図書室で見ただけです。雑穀街道普及会としては、5 月以降、山梨県、神奈川県他の行政担当者にお手紙をお送りして、趣旨説明に伺いたいと考えています。

2. 植物と人々の博物館公開解説

日時：5 月 4 日（木・祝）、場所：小菅村中央公民館。源流祭りの会場がスポーツ広場だけになり、公民館は駐車場となり、トイレ利用者しか訪問しなくなりました。展示を見てくださったのは、紛れ込んできた大月のご老人 1 名だけでした。

13 日には学芸大学の実習で 15 人の学生・院生に見てもらいました。引っ越しのため本年度で最後になりますが、自ら中断せず信義を尽くしました。

3. 5 月日から 7 日まで、タイ、ラジャバト大学の チナタット先生が訪問 されました。

4. 雑穀栽培講習会

日時：5 月 13 日（土・祝）、場所：小菅村中組の畑など。西原の中川さんと丹波山の岡部夫妻に、実技を教えてくださいました。学大の環境教育専修生 15 名ほか市民 1 名の参加でした。14 日は村内で聞き取り調査の実習をしました。

5. **引越し先** 小菅村中央公民館は、7月から縮小改築の耐震工事を行います。「植物と人々の博物館」は急遽引越し先を探さなければならなくなりました。3月31日に小菅村教育長に面談し、細川邸および付属倉庫について、植物と人々の博物館からの提案をしました。4月下旬および5月上旬に、小菅村村長、教育長、細川様他関係者にご意見をうかがいました。引越し先は木下理事、黒澤事務局長のご努力下、自然文化誌研究会関係の資料は細川邸倉庫になりました。小菅村の民具については措置についてまだ確定していません。公民館工事の始まりは7月と決まっているので、5月中に民具・図書などを梱包して、6月中に移動する予定です。

○予定

1. **作業予定日**：5月19日（金）、26日（金）、6月2日（金）、6月16日（金）、23日（金）、30日（金）の予定です。

5月中に文献図書は梱包します。6月には自然文化誌研究会所蔵の民具、雑穀など植物標本、書架などを梱包し、梅雨入り前に、移動したいです。作業にご協力いただきたく、ご一緒していただければありがたいです。よろしくお願いします。ご協力いただける方は木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。 kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. **ミレット藤野で雑穀栽培ワークショップが企画されています。**

5月下旬から秋まで6回、播種から加工・調整、調理まで実技と講義を行います。詳細は下記ホームページにあります。

<http://www.milletimplic.net/collegefores/milletfujino17.pdf>

申込先；メール milletfujino@gmail.com ファックス [042-687-5639](tel:042-687-5639)

第1回 日時：5月28日（日）。場所：JR中央線藤野駅、北隣接の畑（農業生産法人・藤野倶楽部）。

3. **日本村塾ゼミ（読書会・再掲）**

皆様お忙しく、なかなか開催できませんが、希望者があれば開催します。ご意見、ご要望をお知らせください。

1) **自給農耕ゼミ第9回** 日時：未定、自然と感じ合う農耕の楽しさを語り合いたいと思います。

民族植物学ゼミ第4回で出た話題を深めます。テキスト；レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。参考図書；同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

2) **民族植物学ゼミ第5回** 日時；未定 農耕文化について学び直したいと思います。

テキスト；中尾佐助 1966、『栽培植物と農耕の起源』、岩波新書（重版あり）、再読したいロングセラーです。

参考図書；同左（1967）、農業起原論、森下正明・吉良竜夫編『自然-生態学的研究』、中央公論社、所収。

3) **扶桑◆拭◆ぢゼミ第3回** 日時：未定、明治維新から、日本の在り方をまなび、考え直したいと思います。

テキスト；羽仁五郎（1956）『明治維新-現代日本の起源』、岩波書店（絶版中古有）。
参考図書；原田伊織（2015）『明治維新という過ち』、毎日ワズ；西鋭夫（2016）『新説・明治維新』、ダイレクト出版；
西野辰吉（1972）『秩父困民党』、講談社；森田康夫（1993）『大塩平八郎の時代-洗心洞門人の軌跡』、校倉書房。

4. 民族植物学第 11 号 の原稿締め切りは 2017 年 7 月末です。ご寄稿をお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培、信仰論などを準備しています。・・・バックナンバーは第 7 号以降少しあり、希望者に差し上げます。
第 1 号からすべての記事はホームページで読めます。

5. 『雑穀のインド亜大陸』 は民族について学びながら、ネパール・ブータンおよびインド各州について、個人の実験をまじえながら、自由に書いています。未定稿ですが順次章ごとに公開し、必要に応じて改訂していきます。同じく、『環境学習原論』 も書き始めました。
ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2017 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）
ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次
植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴
日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか
雑穀街道普及会

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP: <http://www.ppmusee.org>

個人 HP: <http://www.milletimplic.net>